

令和3年度森林環境譲与税の使途一覧

千葉県

事業区分	事業名	事業総額 (千円)				当年度基金への積立額 (千円)	事業内容
		(A)+(B)+(C)	(A)うち令和3年度の森林環境譲与税 (千円)	(B)うち基金取崩額 (千円)	(C)うち他の財源 (千円)		
事業支援システムの構築	森林計画事業 (森林クラウド管理)	[22,719] 33,488	[22,719] 33,488	[0] 0	[0] 0	—	県が管理する森林資源情報を市町村等とリアルタイムで共有するため、森林クラウドの管理を行った。
	森林整備事業 (森林整備事前準備モデル事業)	13,402	13,402	0	0	—	森林整備のための事前準備を実施する市町村を支援した。
森林整備の支援等	森林整備広域連携モデル事業	6,974	6,974	0	0	—	森林環境譲与税の好循環により市町村による森林整備が促進するよう、都市部地域と森林を有する地域が連携して森林整備を行うモデル事業を、委託事業により構築した。
人材育成・担い手対策支援	さとやま整備・活用促進事業 (多様な主体による里山整備活動促進事業)	3,970	3,970	0	0	—	地域住民等による里山林の整備を進めるため、里山整備や利活用に関する総合窓口を設置し、活動する団体向けに安全講習会等を実施した。
木材利用の推進	ちばの木生産流通拡大総合対策事業 (県産木材の流通システムの構築)	71	71	0	0	—	県産木材の流通拡大に向けて、県産木材の利用に取り組む事業者等が加入する団体を対象に、建築物における木材利用の促進等についてのシンポジウムを開催し、生産から消費までの県産木材のサプライチェーンの構築を促した。
	ちばの木生産流通拡大総合対策事業 (ちばの木の香る街づくり推進事業)	9,885	9,885	0	0	—	公共建築物のほか、展示効果の高い施設における内装の木質化や木材製品の導入経費に対し助成を行った。
	ちばの木生産流通拡大総合対策事業 (マテバシイ材利用拡大事業)	352	99	0	253	—	県南部地域を中心に分布しているマテバシイ材の有効活用を図るための調査研究を行った。
普及啓発の支援	林業普及指導事業 (木育指導者養成研修)	869	869	0	0	—	木育を推進し、千葉県の森林・木材に対する県民の理解を促進するために、千葉県産の森林・木材に関する知識があり、木育活動の企画立案・指導を行える人材の育成を企画した。
	林業普及指導事業 (県産木材の遊具貸出)	1,353	1,353	0	0	—	木育を推進し、千葉県の森林・木材に対する県民の理解を促進するために、県産木材の遊具の貸出制度を整備し、県産木材に触れる機会を広く提供した。
	林業普及指導事業 (木工出前授業)	330	330	0	0	—	木育を推進し、千葉県の森林・木材に対する県民の理解を促進するために、県産木材を使用した木工作品制作や高度な木工技術の実演披露として、中学校の技術・家庭科の授業に高度な木工技術を有する者を講師として派遣した。
	さとやま整備・活用促進事業 (ちばの森体験活動の推進)	1,490	1,490	0	0	—	身近な森に触れ合う機会を提供し、子供向けの自然体験活動を推進した。
	さとやま整備・活用促進事業 (ちば里山アワードによる表彰事業)	98	98	0	0	—	市民団体等により実施されている優れた里山活動を表彰・活動を普及した。
小計		[22,719] 72,283	[22,719] 72,030	[0] 0	[0] 253	—	
基金積立	市町村支援等推進基金	45,665	45,663	0	2	45,663	今後の森林クラウドの更新・改良、人材育成、木材利用等の費用に充てるための金額を基金に積み立てた。なお、(C)欄は運用益である。
合計		[22,719] 117,948	[22,719] 117,693	[0] 0	[0] 255	—	繰越額を含む金額である。

※事業総額欄の下段〔〕書は、前年度からの繰越額で内数である。  
 ※事業総額欄の下段( )書は、翌年度への繰越額で外数である。  
 ※単位未満を四捨五入しているため、各欄を合計した値と合計欄の値は一致しないことがある。